

「生誕100年記念作品」製作奥山和由 脚本新藤兼人 監督神山征二郎

宮澤賢治

— その愛 —

奇跡を起こす聖人ではなく、愛を謳う人間であった。

宮澤賢治

その愛



製作 企画
プロデューサー
脚本 奥山和由
監督 中川好久
撮影 田沢連二
美術 鍋島正幸
音楽 新藤兼人
企画協力 飯村雅彦
監修 神山征二郎
監製 横山豊
松竹株式会社

宮澤賢治…三上博史
宮澤トシ…酒井美紀
伊藤チエ…中山忍
高瀬露…牧瀬里穂
宮澤イチ…八千草薫
宮澤政次郎…仲代達矢

今年、幼い頃に誰もが一度はその名を耳にし、今なお多くの日本人に影響を与え続けている宮澤賢治の生誕100年にあたります。

それを記念して、松竹が総力を結集して人間・宮澤賢治に挑むのが、本作品『宮澤賢治―その愛―』です。

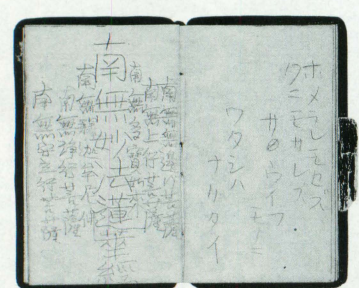
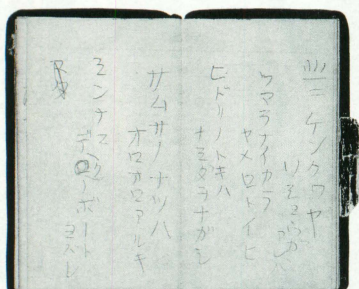
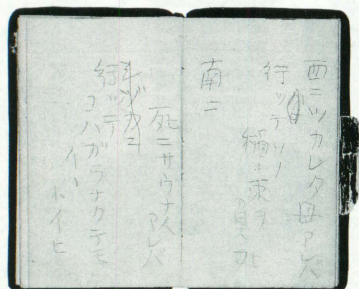
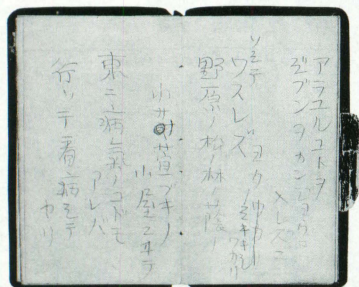
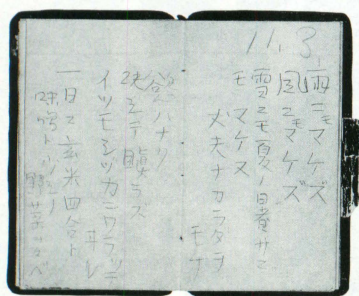
宮澤賢治の人生は、全ての人々の幸福を願う道であり、自然を心から愛する精神に貫かれたものでしたが、愛に苦悩した生涯でもありました。質・古着商の長男として生まれた賢治は、高い理想実現の道を歩みはじめ、家業になじめず、父・政次郎との間に葛藤が生じます。文才にも恵まれていた賢治は、冷害に苦しむ農民たちのために研究を続けながら詩や童話の創作に励みましたが、父との距離は広がるばかりで、賢治の苦悩はいっそう深いものになってゆきます。

もがき苦しむ賢治の唯一の理解者は妹のトシで、賢治は肺結核にかかったトシに深い愛情をそそぎますが、献身的看護も空しくトシは他界してしまいます。また、賢治の人生にはいくつかの恋もありましたが、いずれも実ることはなく、生涯独身のまま志なかなばにして37歳でこの世を去りました。敬愛する父との、父と子ゆえの相克、最愛の妹とは死別。貧しい農民への愛も報われることは少なかった賢治。それでもなお、純粹な心を悩ませながら、人々の幸せを願い孤独な愛の戦いを続けた賢治の人生は、混迷する現代に生きる日本にとって大きな道しるべであり、深い感銘と感動をよびます。なかでも、賢治の死後に発見され、映画のラスト・シーンを飾る「雨ニモマケズ」の詩は、人々の心を熱くせずにはおきません。

映画化に当たっては、大ヒット感動作『ハチ公物語』『遠き落日』を生んだ、製作・奥山和由、脚本・新藤兼人、監督・神山征二郎が三たびスクラムを組み、「日本人の魂を描く三部作」の完結篇として位置づけて製作をスタートさせました。スタツフも、撮影・飯村雅彦、美術・横山豊、音楽・林哲司ら一線級がそろい、大作にふさわしいクルーが編成されています。

キャストは、宮澤賢治に三上博史、父・政次郎に仲代達矢、妹トシには酒井美紀、母・イチに八千草薫。そして賢治に想いを寄せる女性高瀬露に牧瀬里穂、伊藤チエに中山忍と魅力的な布陣で、「感動」の宮澤賢治を描きます。

9月14日(土)全国松竹系にてロードショー。日本中に愛と感動を贈ります。



9月14日(土)より大公開!
特別鑑賞券(一般¥1400/学生¥1200)発売中

地下鉄東銀座駅下車・駐車場完備
松竹セントラル3
03(5550)1631